



KOTA.SENDENBU
▲幸田町公式
Instagram



▲幸田町公式LINE

第6回



博物館準備室

今回のテーマ

「大久保氏と坂崎陣屋」

大久保氏といえば、幸田の夏の風物詩の1つ「彦左まつり」で、たらいに乗った大久保彦左衛門忠教を思い出す人もいるのではないのでしょうか。

大久保忠教は、永禄3（1560）年、松平氏の重臣である大久保忠貞^{ただ かつ}の息子として、碧海郡上和田郷（現在の岡崎市上和田町）で生まれました。忠教は、兄とともに徳川家康を幼い頃から支え続けます。その功績によって、江戸時代になると、幕府より現在の幸田町北部から岡崎市南部に至るまでの領地を拝領しました。そして、坂崎の地には、領地を治めるための役所である陣屋を置きました。明治維新後、敷地内には、坂崎村役場と坂崎小学校の前身にあたる郷学校が設置され、忠教の子孫大久保忠明^{ただ あき}は、坂崎村長として村政を担います。

現在、坂崎陣屋の痕跡は、八百富社（幸田町大字坂崎字御屋敷）の鳥居の左右にある江戸時代に築かれた石垣が残るのみです。私たちは、唯一残る陣屋の面影をこれからも大切にしていかなければなりません。



坂崎陣屋跡

問合せ 文化スポーツ課 文化グループ(中央公民館内)
☎(0564)62-1111(内線195) FAX(0564)63-1675
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日が休館)



←新博物館基本構想
についてはこちら



入園・進級をして、新しい生活が始まりました。初めておうちのひとと離れて過ごす子は、さみしくて涙が出してしまうこともありましたが、少しずつ慣れてきて、保育園の楽しい環境に笑顔が見られるようになりました。お友達がいて、お気に入りの遊びがあって、美味しい給食を食べたり、みんなで散歩や遠足に出かけたりしています。

『カエルと楽しい保育園』

某月某日

里保育園

わんぱくだより

里保育園は、たくさんの自然に囲まれた、とても素敵な環境の中にあるので、お散歩や遠足は、格別に楽しいものになります。のどかな農道を季節の風を感じながら歩き、草花や生き物を見つけて、触れて、遊びます。そんな里保育園のさらなる魅力の一つは、「カエルがたくさんいること！」です。「なんで、こんなにカエルがいるのだろう!」と楽しくびっくりです。カエルの種類を「アマガエルにツチガエル、オウサマガエルに、ウシガエル」と自信満々に教えてくれる年長さん。「すごいジャンプ力です」と跳んでいくんだよ」と、カエルになりきって、カエルの跳ぶ姿を再現してくれて何ともかわいらしい姿でした。

